

大成建設が東洋建設に対する公開買付を公表—格付に与える影響は限定的

以下は、大成建設株式会社（証券コード：1801）の東洋建設株式会社（同：1890）に対する公開買付についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 25年8月8日に当社は東洋建設の普通株式への公開買付を行う予定であると公表した。買付期間は8月12日から9月24日、買付価格は1株当たり1,750円で買付代金は約1,300億円となる計画である。本件が成立すれば一連の手続きを経て、同社は当社の完全子会社となる見込みである。当社ではM&Aなども活用した事業変革を進めており、本件はその一環である。国内最大手ゼネコンの一社である当社は陸上土木工事や建築工事に強みがあり、マリンコントラクターと称される海洋土木工事に強い東洋建設とは事業上の補完性が認められる。
- (2) JCRでは、本件が実現しても、当社の格付に与える影響は限定的と判断している。これは、①のれんの償却費負担によって東洋建設の当面の利益貢献が小さいこと、②買付代金は対応の金額となるが、当社の資産、負債、資本の規模を踏まえるとネット DER や自己資本比率といった財務指標の悪化は軽微と考えられることなどが理由である。今後は、同社とのシナジーの発現などによって、中長期的に事業基盤やキャッシュフロー創出力が強化されていくか確認していく。

(担当) 窪田 幹也・下田 泰弘

【参考】

発行体：大成建設株式会社

長期発行体格付：AA-

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル